



第44号

発行日

2016年1月15日
《隔月15日発行》

石産協通信

sekisankyo tsuushin

石を愛するコミュニティ



一般社団法人

日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681
http://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行:広報委員会

いば かつ ゆき
会長 射場一之

あけましておめでとうございます。

まずもって、昨年1年間、地区・支部、部会、委員会の各活動を陰ながら支えてくださった多くの皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、年頭にあたり、ここで改めて石産協のスタンスを皆さんと分かち合っておきたいと思えます。大前提として、石産協は単なる親睦団体でもなければ個人的利益を追求する団体でもないということ、まずはご理解いただきたいと思えます。誤解のないように申し添えておきますと、私は親睦のための団体や会員の利益を追求する団体を否定しているわけではありません。あくまでもスタンスの問題です。では、石産協は一体何のために存在するのか？ 石産協は社会のために存在し、利益のためにではなく、お墓づくりを通して、石という素材を通して人々を幸せに導くために存在している——それが会長としての私の信念です。儲かる・儲からないということ

石を愛するコミュニティとして

以前に、石材店としての使命があるはずですが。知識や技術を覚える必要はありますが、先に学ぶべきことは、物事の考え方やご遺骨を扱う者としての心のあり方だと私は考えています。

さて、私が掲げた次期のミッションのひとつに「共通の価値観と信頼関係で結ばれたコミュニティづくりに全力投球する」というものがあります。私が考えるコミュニティの要件は次の3つです。

1. 価値観が共有されていること
2. 信頼関係にあること
3. ゆるやかなつながりを持っていること

年齢も、育った環境も、仕事をしている地域も違うわけですから、すべての価値観が完全に一致することなど考えられません。しかし、価値観を共有することなら可能です。互いの価値観の違いにいらだつのではなく、個性をぶつけ合うのでもなく、一人ひとりがその個性を輝かせて互いを照らし合う——そんな活動をしていきたいと思っています。石材業界が抱える問題や課題は多岐にわたっています。だからこそ、多様な個性を持った会員の皆さんに、その個性を発揮していただくことが必要なのです。私一人では何一つ解決できません。

お墓参りという習慣の根ざした暮らしの豊かさと、石という素材の持つ魅力・多様性・可能性を発信することで社会に貢献していくために、石を愛するコミュニティを育てていく——それが私のミッションのひとつです。

末筆となりましたが、今年1年間の会員皆さまのご健勝と社運隆盛を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお祈りいたします。

石を愛する
コミュニティ



コミュニティー【community】

人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。共同体。三省堂「大辞林」より

エンディング産業展<ENDEX>出展

2015年
12月8日(火)～10日(木)
東京ビッグサイト

『エンディング産業展』が盛大に開催されました。3日間で総計22,000人、報道関係者だけでも300人の来場があり、供養産業の展示会では過去最大級の規模となりました。200社を超えた出展業者は多業種でしたが、会場のおよそ半分が葬儀社向けの展示で占められており、改めて葬儀市場の大きさを感じました。特に新しい葬送・埋葬方法を謳うブースは、特注の看板やライトアップなどで華やかに装飾し、一際目立っていた印象でした。我々石材業界では関連業種も合わせ、およそ10社の出展があり、それぞれが一定の成果を上げることができたと伺っています。

当会ブースでは、NIPPON石博実行委員会の協力を得、「ふるさと石名所」と「石のサイエンス」の展示をメインに協会PRを行いました。一般消費者の来場は少なかったものの、業界内外へ”石文化の啓蒙”ができた実感しています。特に「ふるさと石名所」については、先の『NIPPON石博』での経験も活かし、遠目からでも目を惹くことのできるよう石材サンプルの配置を工夫し、また海外のカラフルな石材も配置した結果、他のどのブースよりも来場者が滞在していました。「石のサイエンス」でも顕微鏡を覗き込む方が後を絶たず、石材の新たな魅力を発信することができたと感じています。

当会は後援することでブース出展、射場会長によるセミナー講演、テープカットへの参加など具体的なバックアップをしましたが、今後益々注目を浴びていくであろう供養産業において、我々が積極的な石文化の情報発信を行っていく姿勢を示すための足掛かりになった展示会でした。運営に携わったスタッフ一同が今後の活動に手応えも感じたことを併せてご報告いたします。貴重な時間を割いてご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

[広報委員 中村裕貴]



開会式テープカットの様子



テープカットに参加する射場会長



来場者で賑わう当会ブース



ふるさと石名所



石のサイエンス
拡大された
石の表面(右)



出展者インタビューの坂口氏とスタッフの皆さま

出展者インタビュー

◎有限会社坂口石材工芸 代表取締役 坂口 登 氏

伝統技術を熱く継承します。

- Q1：訪問客の絶えない、注目の出展ブースになりましたね。
坂口▶おかげさまで、販売数も当初の予想を上回る結果になりました。とても感謝しています。
- Q2：今回のエンディング産業展は初めての企画になりますが、出展の理由は何ですか。
坂口▶エンディングを掲げる展示会なのに、石材店の出展者がいないのは、業界にとってマイナスだと感じ、「よし、やろう」と思いました。
- Q3：埋葬の形式が簡素化された展示が多く見られましたが、御社のブースは、五輪塔を含めた多数の墓石展示が目を引きました。伝えたいメッセージがありましたか。
坂口▶昔からの伝統技術を見ていただき、本当のお墓の良さ、日本のお墓の手作りの良さを知っていただきたいと思いました。
- Q4：墓石作りにかかる思いを聞かせてください。
坂口▶日本の石と日本の職人の手で、お墓を作りたいです。そして、若い職人を育て、伝統的な技術を継承させていきたいです。
- Q5：来年の出展も考えていますか。
坂口▶すでに申し込みをしました。いろいろな企画を思案中。楽しみにしてください。

～インタビューを終えて～ 業界、そして技術継承の未来像について熱く語っていただきました。来年のエンディング産業展の動向についても、是非注目していきたいですね。【聞き手:吉野 博】

関連部会に所属する企業、約30社が新製品や売れ筋商材を出展!!

ストーンアシスト2016 in Tokyo

2016年2月11日(木・祝)~12日(金)
TOC有明コンベンションセンター

「石屋さんを元気にさせよう!」をテーマに関連部会が事業を進める専門展示会「ストーンアシスト 2016 in Tokyo」が開催されます。

本展は、石材関連の産業商社、メーカー、IT関連、設計・施工・メンテナンス業者、及び企画・制作・情報提供業者が一同に集結しており、非常に便利で有益な商談展示会です。

また会場では、技術相談や価格・納期相談も可能で、新規取引先や新商品を探すには絶好の機会と言えます。

さらには、イベントとして、11日(木・祝)は「国内石材業界の現状と今後について」をテーマに業種別代表者のパネルディスカッション、夕方には「交流会」を東京ベイ有明ワシントンホテルで開催、12日(金)は「出展業者の勉強会やセミナー」などと盛りだくさんの企画を用意しております。

詳しくは、同封の「招待状」や今後の「案内状」をご確認ください。関係者一同、皆さまの来場をお待ち致しております。[関連部会長 竹ノ内壮太郎]



ストーンアシストイメージキャラクター

新入会員紹介 会員数:1284名(2015年12月9日現在)

<p>宮城県</p> <p>(有)ナカノ</p> <p>銀代表: 中野宏俊</p> <p>設立: 平成17年5月</p> <p>業種: 関連</p>	<p>宮城県</p> <p>(株)銚建仏光堂</p> <p>銀代表: 銚建祐治</p> <p>設立: 昭和7年</p> <p>業種: 墓石・関連</p>	<p>千葉県</p> <p>(株)岩佐石材工業</p> <p>銀代表: 岩佐裕之</p> <p>設立: 平成17年11月</p> <p>業種: 墓石・加工</p>	<p>千葉県</p> <p>(株)うめ家石材店</p> <p>銀代表: 三浦美喜雄</p> <p>設立: 大正15年</p> <p>業種: 墓石</p>	<p>東京都</p> <p>(株)石松年</p> <p>銀代表: 古池智恵子</p> <p>設立: 平成11年10月</p> <p>業種: 墓石</p>
<p>長野県</p> <p>髻石材店</p> <p>銀代表: 有賀大希</p> <p>設立: 明治17年</p> <p>業種: 墓石</p>	<p>愛知県</p> <p>横山石材</p> <p>銀代表: 横山弘樹</p> <p>設立: 昭和51年4月</p> <p>業種: 建築・墓石・輸入</p>	<p>京都府</p> <p>永代供養 新墓地紹介センター</p> <p>銀代表: 山本暢彦</p> <p>設立: 平成26年9月</p> <p>業種: 墓石</p>	<p>大阪府</p> <p>(株)ECTレード</p> <p>銀代表: 西本恵則</p> <p>設立: 平成22年12月</p> <p>業種: 墓石・加工</p>	<p>奈良県</p> <p>(株)磐城</p> <p>銀代表: 川村洋子</p> <p>設立: 昭和2年</p> <p>業種: 墓石</p>

石産協は、「InterFaith 駅伝」を応援します。

2016年2月21日(日)InterFaith 駅伝が京都マラソン2016に合わせて開催されます。異なる宗教者(例: 仏教・神道・キリスト教・イスラム教等)で4人1チームをつくり、世界平和を願うタスキをつなぎながらゴールを目指す駅伝です。このイベントに石産協も協賛しています。お近くに住まいの方はぜひ、応援に行ってみてはいかがでしょうか。詳細は<http://interfaith-japan.com/>

事業案内2016 1月~3月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの最新情報からご確認ください。

1月26日(火) 東京都 第6回 正副会長会議	1月27日(水) 全国7会場 第12回 お墓ディレクター検定試験	2月10日(水) 東京都 第3回 理事会
2月11日(木・祝)・12日(金) 東京都 ストーンアシスト2016 in TOKYO	2月24日(水)・25日(木) 愛知県 お墓ディレクター1級取得者研修会	2月27日(土) 京都府 石材加工講習会
		2月29日(月) 北海道札幌市 北海道地区全体会議

委員会・部会活動 1月~3月

1月25日(月) 東京都
関連部会

1月25日(月) 東京都
採石・原石/加工合同部会

2月16日(火) 東京都
輸入卸商部会

お墓ディレクター
NEWS

お墓ディレクター1級取得者研修会

2016年2月24日(水)・25日(木) 愛知県

新年おめでとうございます。
年が改まりまして、今年はお墓がいっぱい売れる一年にしたい！と決意と希望の一年の幕開けです。

「墓じまい」なんていう言葉がすっかりメジャーになり、去る12月に行われた「エンディング産業展」でも、供養業界が本当に多様化してきたのだと実感させられます。

そんな中で生き残るにはどうしたらよいか？
人が人を想い、感謝する人間のこころは時代が変わっても変わりません。その大切なこころを思い出させてくれる場所であるお墓を扱う私たちに必要なのは、お客さまに喜んでもらえる豊かな知識とあたたかい接客ではないでしょうか。ほんとうの答えはお客さまの内にあります。その答えを導き出すお手伝いをするのが私たちの仕事です。

皆さまに少しでも現場で役立つアイデアのヒントになればと、毎年

お墓ディレクター1級取得者研修会を行っており、今年も2月24・25日に名古屋市・岡崎市にて企画しています。

一日目は講師をお招きしての座学です。第一部は尾角光美氏による「なくしたものとつながる生き方」でグリーンケアとお寺の新たな可能性を模索されている体験談を、第二部は仏事ネット寺田良平氏による「集客できる石材店になる為の最新ホームページ講座」をお話しいただく予定です。

二日目は石都・岡崎見学ツアー。吉祥石採掘場、石の公園団地、石製品工場公園団地などを見学予定です。

明日の仕事の活力になる研修会にしようとしてと着々と準備を進めております。ぜひご参加ください！お墓ディレクター資格が皆さまの日々の仕事のお役に立つよう、今年もより一層サポート体制を強化します。お楽しみに！【お墓ディレクター委員 塩田 結】

中国四国地区全体会議 in 岡山

2015年11月16日(月) 倉敷アイビースクエア / 17日(火) 研修ツアー

中国・四国地区全体会議が岡山県南部に位置する倉敷市で開催されました。秋晴れの下、会議には129名、懇親会には115名、翌日の研修ツアーには45名のご登録をいただき、岡山県支部一同、皆さまのご参加を心より御礼申し上げます。

今回の会議では、日ごろ私達が仕事で扱う石材の成り立ちや特性をもっと理解し、他とコラボレーションすることで、石の色々な可能性を発見することが出来たように思えます。そして、会場内に設けた「石あかり」「石のサイエンス」コーナーへの一般のお客様の関心度の高さや反応も、今後の良い参考になりました。【岡山県支部 小野純子】



北海道地区全体会議

2016年2月29日(月) 札幌市・かてる2.7

北海道地区全体会議が、「3つのL(エル)(耐える・鍛える・備える)」をテーマに札幌の地で2016年2月29日に開催されます。パネラーにエンディング産業関係者(墓石、散骨、納骨堂、行政)の方々を交えてのシンポジウムを開催致します。また墓石メンテナンスの講習会、支部活動報告、居酒屋談義(交流会)が実施されます。

第6回石材加工講習会 開催日程決定

2016年2月27日(土) 京都府・三和研磨工業株式会社

三和研磨工業株式会社(京都府)において、採石・原石部会、加工部会、関連部会の合同事業である「石材加工講習会」を開催します。本事業では、手加工・手磨きの実技講習を行う事で、会員の知識向上と技術レベルUPを計る事を目的にしております。今回の講習会では、京都府支部にもご協力いただき、勉強会と交流会も同時に開催する予定です。

詳しくは、今後配信の案内状等でご確認をお願い致します。

[加工部会長 坂口 登]

《事務局よりお知らせ》

① 発売中の書籍の在庫が無くなり次第販売終了とさせていただきます。ご入用の方はお早めにご注文ください。

- ・日本人のお墓 1集
- ・日本人のお墓 2集
- ・お墓物語
お墓にまつわるエピソード集
※「その二」は販売を継続します
- ・墓石用石材規格カタログ
- ・お墓と地震と地盤
(実験映像DVD付き)
- ・地震に強いお墓の報告書

② 9月から試験的に始めました会員向け折り込みチラシがご好評をいただいております。随時受付中です、専用用紙にて事務局までお申し込みください。また、来期から事務手数料を値上げさせていただきますので予めご了承ください。

《広報委員会よりお知らせ》

毎号ご愛読いただきありがとうございます。石産協通信を通し、当会の活動を広くご周知いただけるよう、ぜひ社内の皆さままで閲覧をお願いいたします。また、1部では足りないという方は事務局までご連絡ください。